



## 青森県感染症発生情報 (2025年第25週)

### I 第25週の発生動向 (2025/6/16~2025/6/22)

- 水痘については、東津軽+青森市保健所管内の定点当たり報告数が新たに**注意報レベル**となりました。一方、三戸+八戸市保健所管内の**警報**及び**上北保健所管内の注意報は解除**となりました。
- 伝染性紅斑については、三戸+八戸市保健所管内で**警報**が継続しています。
- 百日咳については、下北保健所管内を除く**5保健所管内**で患者が報告されており、特に**中南保健所管内**の報告数が多くなっています。手洗い等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

### II 第25週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

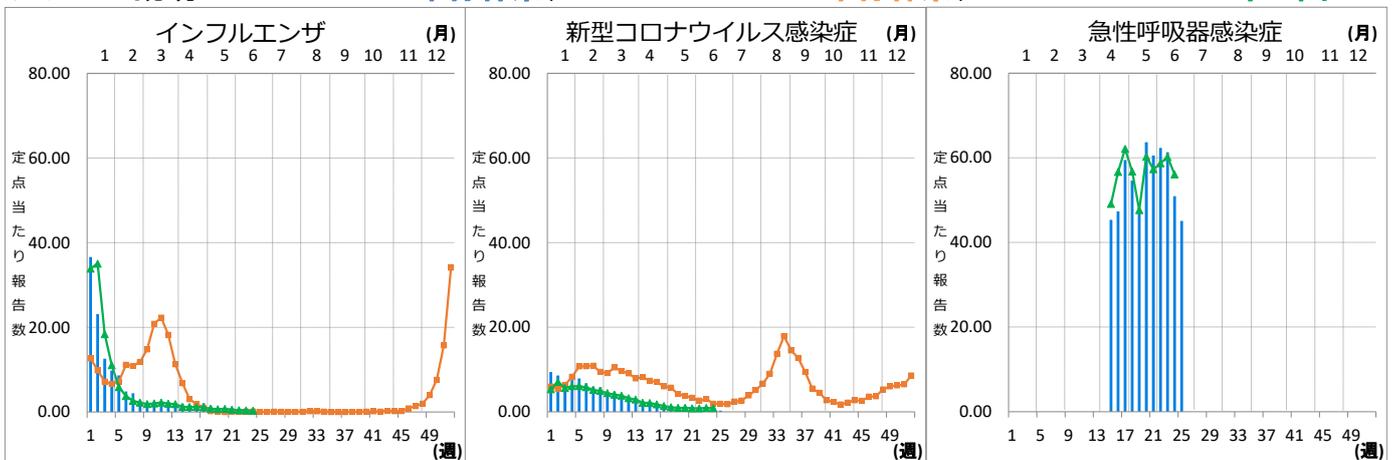
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

■ は警報、■ は注意報。「空欄」：患者報告無し。

		東青 (東津軽+青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週からの増減 数	
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
急性呼吸器感染症	インフルエンザ									2	0.22	2	0.33	4	0.08	-13	
	新型コロナウイルス感染症	2	0.18	2	0.20	3	0.30	1	0.17	5	0.56	2	0.33	15	0.29	-3	
	急性呼吸器感染症	738	67.09	329	32.90	379	37.90	251	41.83	327	36.33	320	53.33	2344	45.08	-304	
小児科	RSウイルス感染症							4	0.80					4	0.12	-10	
	咽頭結膜熱	2	0.33	1	0.17	3	0.43	1	0.20	1	0.17			8	0.24	-2	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.33	4	0.67	12	1.71	4	0.80			11	2.75	33	0.97	-7	
	感染性胃腸炎	9	1.50	16	2.67	33	4.71	22	4.40	10	1.67	1	0.25	91	2.68	-6	
	水痘	9	1.50	2	0.33	4	0.57	1	0.20	2	0.33	1	0.25	19	0.56	-6	
	手足口病			4	0.67			1	0.20					5	0.15	5	
	伝染性紅斑	4	0.67	2	0.33	16	2.29	1	0.20	3	0.50	2	0.50	28	0.82	3	
	突発性発しん	5	0.83	3	0.50	5	0.71	2	0.40					15	0.44	0	
	ヘルパンギーナ																0
	流行性耳下腺炎			1	0.17									1	0.03	-2	
眼科	急性出血性結膜炎															0	
	流行性角結膜炎															-1	
基幹	感染性胃腸炎(ロカイル)															0	
	クラミジア肺炎															0	
	細菌性髄膜炎															0	
	マイコプラズマ肺炎			1	1.00	1	1.00	2	2.00			5	5.00	9	1.50	5	
	無菌性髄膜炎															-1	

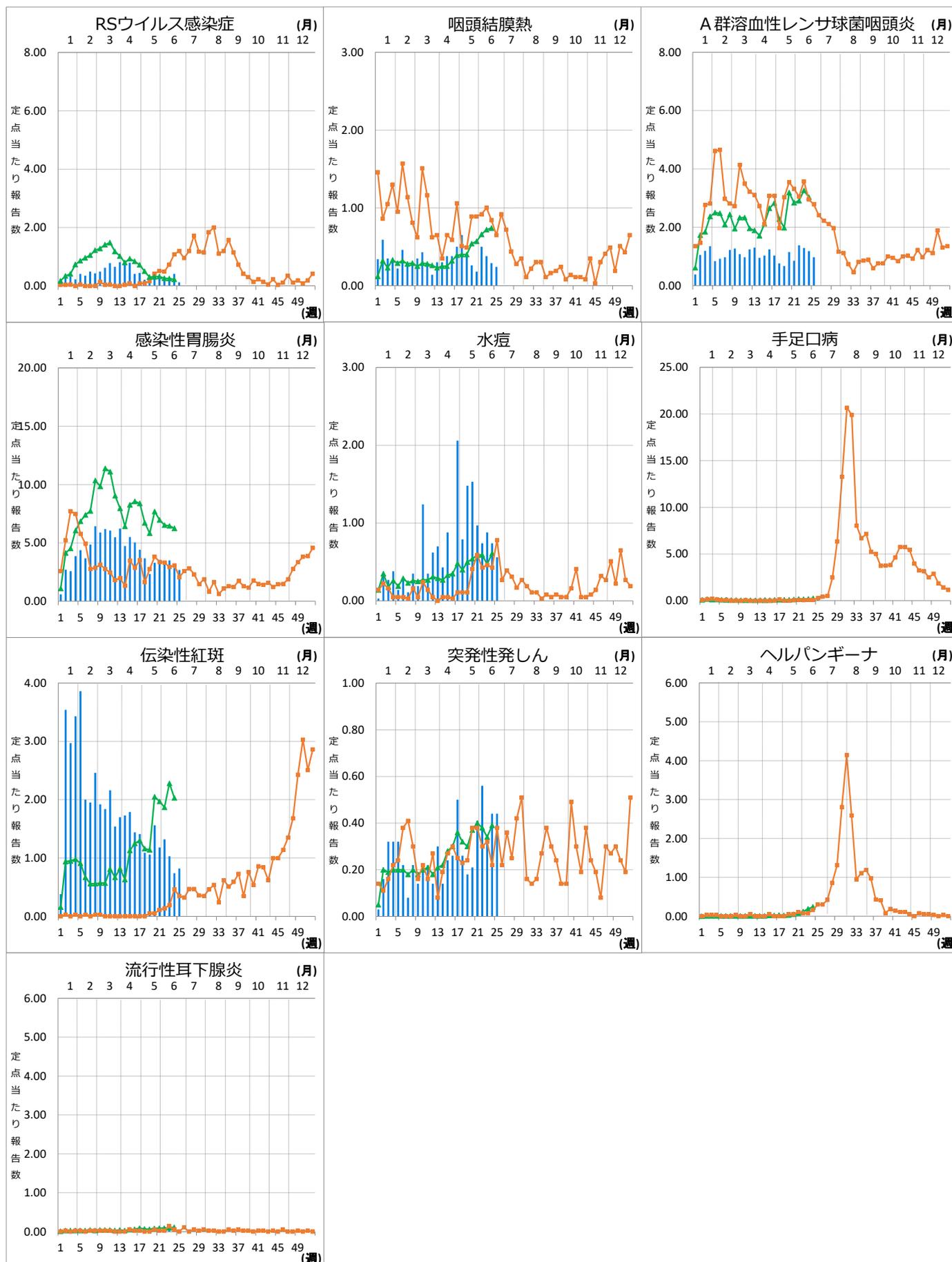
### III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2025年第25週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は2025年青森県、 は2024年青森県、 は2025年全国



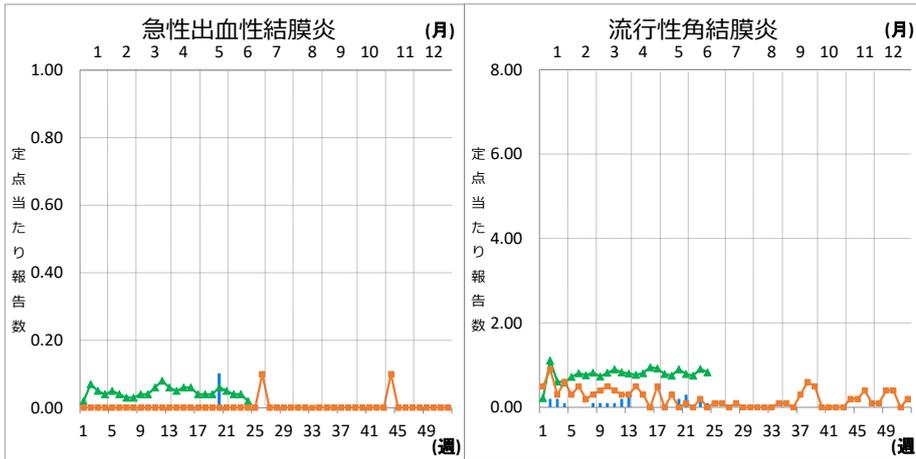
IV 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2025年第25週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2025年青森県、 は2024年青森県、 は2025年全国



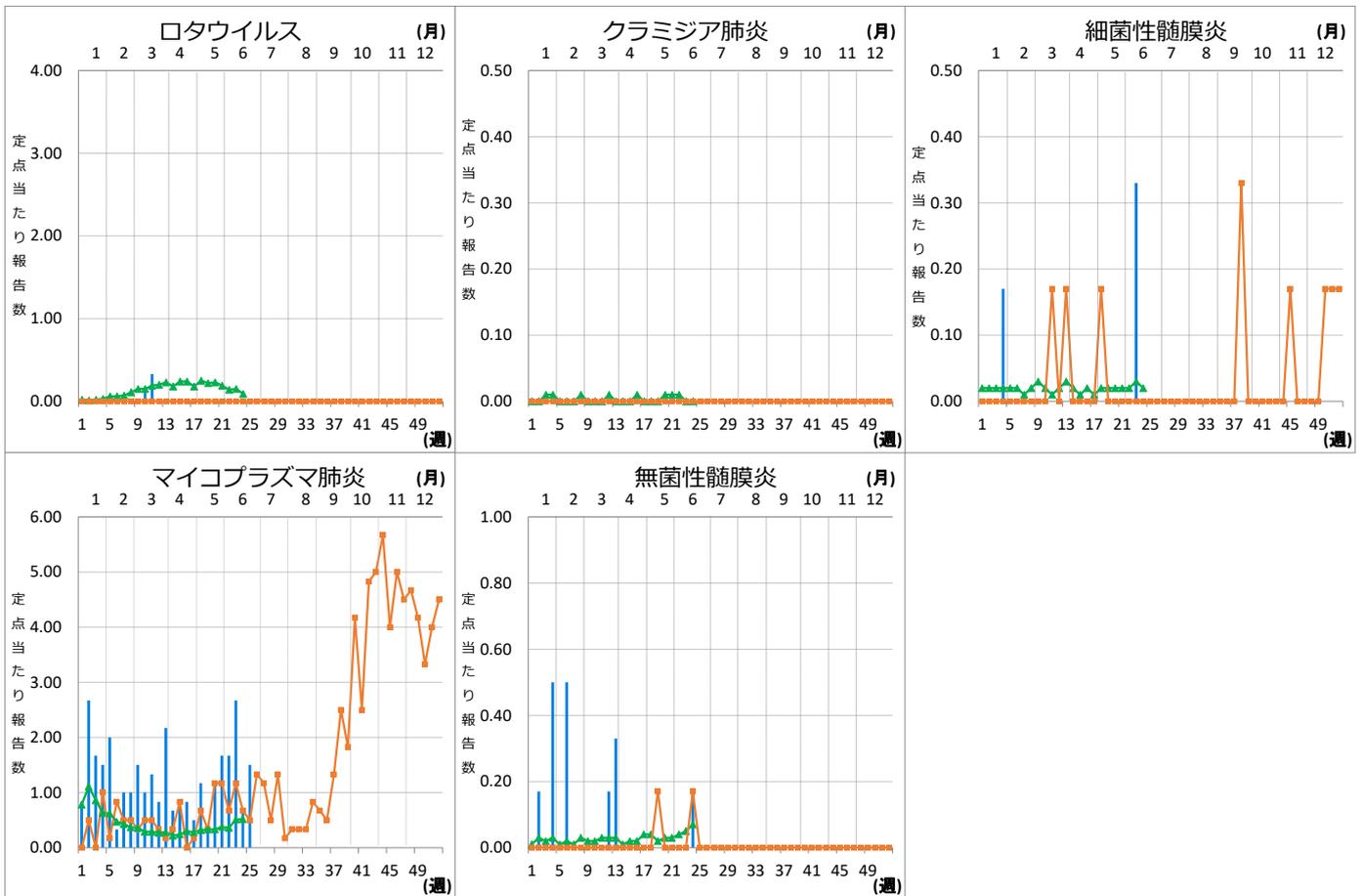
V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2025年第25週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ← 2025年青森県、2024年青森県、2025年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2025年第25週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ← 2025年青森県、2024年青森県、2025年全国



## Ⅶ 急性呼吸器感染症 (ARI) 病原体検出情報

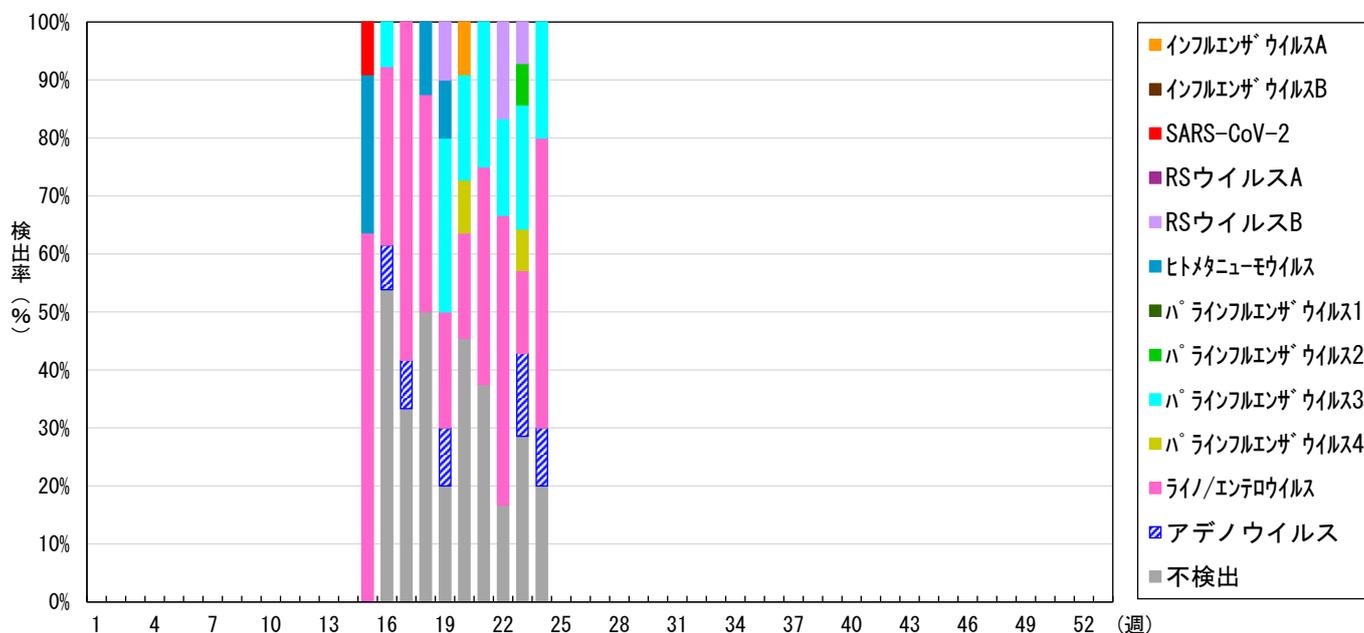
### (1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2025 年第 18~25 週)

急性呼吸器感染症	2025年							
	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週
提出検体数	8	9	11	8	6	11	10	8
インフルエンザウイルスA	0	0	1	0	0	0	0	0
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	0
SARS-CoV-2	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルスB	0	1	0	0	1	1	0	0
ヒトメタニューモウイルス	1	1	0	0	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	0	0	1	0	0
パラインフルエンザウイルス3	0	3	2	2	1	3	2	0
パラインフルエンザウイルス4	0	0	1	0	0	1	0	0
ライノ/エンテロウイルス	3	2	2	3	3	2	5	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	2	1	0
不検出	4	2	5	3	1	3	2	0
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	8

※第19週に提出された検体のうち、ライノ/エンテロウイルス及びアデノウイルスが検出されたものが1検体ありました。

※第23週に提出された検体のうち、RSウイルスB、ヒトパラインフルエンザウイルス3及びアデノウイルスが重複して検出されたものが1検体、ヒトパラインフルエンザウイルス3及びアデノウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

### (2) 検出された病原体の週別推移 (2025 年第 15 週~)



**Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（第 25 週）**

- ・結核（二類感染症）：青森市 1 人、八戸市 2 人、上北 1 人 (2025 年計： 54 人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）：上北 1 人 (2025 年計： 6 人)
- ・つつが虫病（四類感染症）：青森市 2 人、中南 1 人 (2025 年計： 12 人)
- ・レジオネラ症（四類感染症）：上北 1 人 (2025 年計： 5 人)
- ・クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）：青森市 1 人 (2025 年計： 2 人)
- ・梅毒（五類感染症）：中南 1 人 (2025 年計： 11 人)
- ・百日咳（五類感染症）  
：東津軽 1 人、青森市 3 人、中南 12 人、三戸 2 人、八戸市 3 人、西北 2 人、上北 1 人 (2025 年計： 475 人)

**Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2025 年第 22 週～2025 年第 25 週）**

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
22	結核3人 梅毒1人	百日咳10人	結核1人 百日咳7人			
23	百日咳5人	百日咳13人	結核1人 E型肝炎1人 侵襲性肺炎球菌 感染症1人 百日咳15人	百日咳1人	結核2人 百日咳2人	
24	梅毒1人 百日咳4人	侵襲性肺炎球菌 感染症1人 百日咳11人	百日咳8人	百日咳1人	結核1人 つつが虫病2人 百日咳2人	
25	結核1人 つつが虫病2人 クロイツフェルト・ ヤコブ病1人 百日咳4人	つつが虫病1人 梅毒1人 百日咳12人	結核2人 百日咳5人	百日咳2人	結核1人 腸管出血性大腸菌 感染症1人 レジオネラ症1人 百日咳1人	

第 24 週に中南保健所管内で百日咳の届出が 2 件、上北保健所管内で百日咳の届出が 1 件ありましたので追加しました。

**X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）**（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

**全国**（2025年第1週～第24週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムボックス
累積報告数	6028	3	24	753	13	3	271	67	10	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ポツリヌス症
累積報告数	7	3	2	76	1	8	85	63	190	1

分類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症
累積報告数	9	1	881	2	210	105	652	12	274	13

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症
累積報告数	77	743	369	15	377	47	2169	294	6288	78

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	33	45	31966	6	142	4

**青森県**（2025年第1週～第25週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	日本紅斑熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	54	6	1	12	1	5	1	6	1	2

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	百日咳
累積報告数	5	1	3	13	11	475

**XI 病原体検出情報** ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日

急性細気管支炎患者（咽頭ぬぐい液（鼻汁）、4/2）・・・hRS ウイルス B：中南 1人

## Ⅷ 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2025年第25週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第25週	報告なし		

2025年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月				7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (施設別)
		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-22週	23週	24週	25週	26週	27-31週	32-35週	36-39週	40-44週	45-48週	49-52週	
介護・老人福祉関係施設	件数	1	4	4	4	1	0	0	0								14
	発症者数	7	70	69	78	11	0	0	0								235
児童・婦人関係施設等	件数	4	10	8	7	1	1	1	0								32
	発症者数	74	228	136	128	25	13	24	0								628
障がい関係施設	件数	0	2	2	1	1	0	0	0								6
	発症者数	0	37	25	10	5	0	0	0								77
その他施設	件数	0	0	0	0	0	1	0	0								1
	発症者数	0	0	0	0	0	10	0	0								10
計(月別)	件数	5	16	14	12	3	3									53	
	発症者数	81	335	230	216	41	47										950

## 感染症の窓

### マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマという細菌に感染することによって起こる感染症です。小児や若い人の肺炎の原因としては、比較的多いものの1つです。

潜伏期間は、通常2～3週間と比較的長く、発熱、全身倦怠感、頭痛などの症状が現れた後、痰を伴わない咳がみられます。本疾患による咳は、熱が下がった後も長期間（3～4週間）続くのが特徴です。

2025年における定点当たり報告数の推移（速報値）は図のとおりです。全国の定点当たり報告数は、第2週から減少していましたが、第17週以降緩やかな増加傾向に転じており、第23週の定点当たり報告数は0.51人/定点となりました。一方、青森県における定点当たり報告数は、定点数が少ないこともあり、全国よりも高い値で推移していますが、第23週の定点当たり報告数は2.67人/定点で、前週までに比べて増加していますので、今後の発生動向に注意が必要です。

主な感染経路は、飛沫感染と接触感染です。予防には手洗い等の基本的感染対策が有効です。また、咳やくしゃみなどによるしぶきから感染しますので、マスクを着用するなどの咳エチケットを心がけましょう。

多くの人はマイコプラズマに感染しても気管支炎で済み、軽い症状が続きますが、肺炎となったり、重症化することもありますので、長引く咳などの症状があるときは、医療機関で診察を受けるようにしましょう。

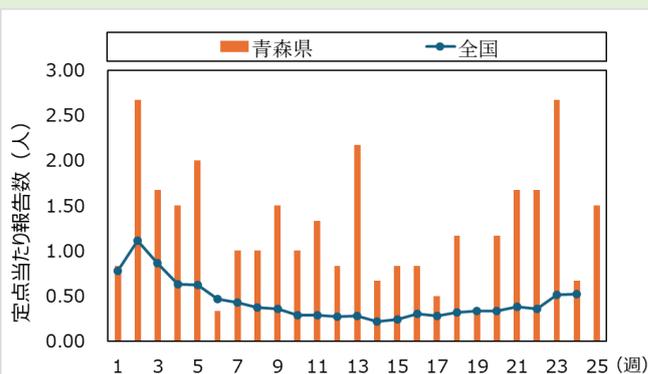


図 2025年における定点当たり報告数の推移(速報値)

○詳しい情報はこちらをご覧ください。 [マイコプラズマ肺炎に関するQ&A\(厚生労働省HP\)](#)

